

聴音・ソルフェージュ

新曲視唱

S-I と S-II の 2 曲が課せられる。

各曲ともピアノで終止形が与えられたその後、20秒程度の黙読が許される。

S-II の課題は、リズム譜にしたがい手拍子を打ちながら旋律を唱うことが求められる。

S-III については、ハ音記号(ソプラノ・アルト・テノール)を含んだ課題である。

ハ音記号の勉強をしていない場合は、歌わなくてもよい。

S-III を唱うか否かは、入学試験の可否には関係ありません。

和声聴音

H-I ピアノでイ音を与えられた後、1～10までを2回通奏する。

H-II (a)と(b)ともに終止形とテンポが与えられた後、3回通奏する。

H-III (a)と(b)ともに終止形とテンポが与えられた後、4回通奏する。

H-IV 終止形とテンポが与えられた後、通奏1回、前半を3回、通奏1回、後半を3回、通奏1回の順で実施される。

旋律聴音

各課題とも、調子、拍子、小節数、テンポそして終止形が示される。

M-I 演奏は通奏1回、前半を3回、通奏1回、後半を3回、通奏1回の順で実施される。

M-II 複旋律の聴音課題。演奏はM-Iと同様に実施される。

M-III 暗記の課題。通奏4回。その間、受験生は筆記をせず、4回目を弾き終わった後、筆記を開始する。

S-I

Allegretto

mp

p cresc. f

mf p

S-II

Andante moderato

う た

p mf f p

mp cresc. f p

手拍子

S-III

Andantino

mf dim. pp

mf p cresc. f p

H-I

H-II

(a) B dur 2分の2拍子

(b) e moll 2分の2拍子

H-III

(a) G dur 2分の2拍子 (密集)

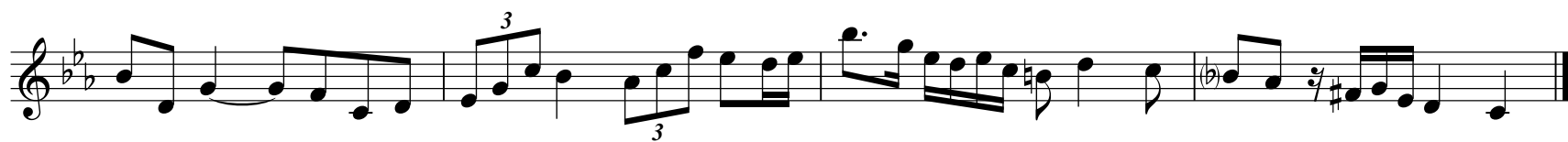
(b) d moll 2分の2拍子 (開離)

H-IV

h moll 2分の2拍子

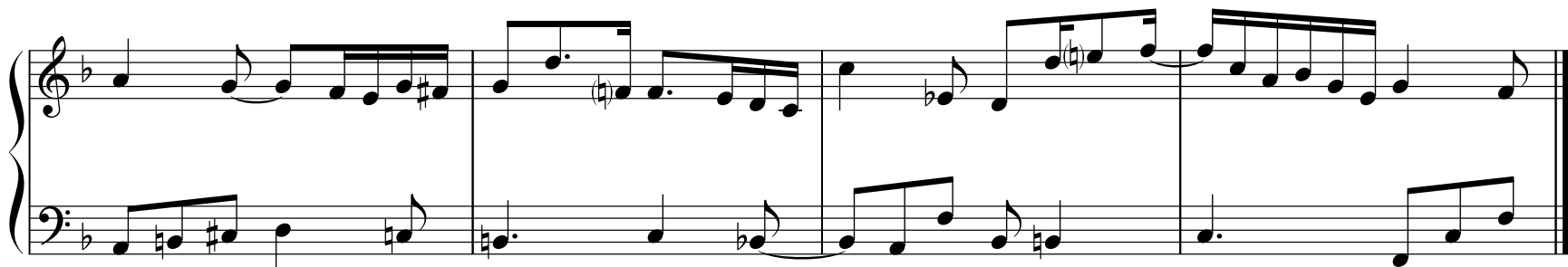
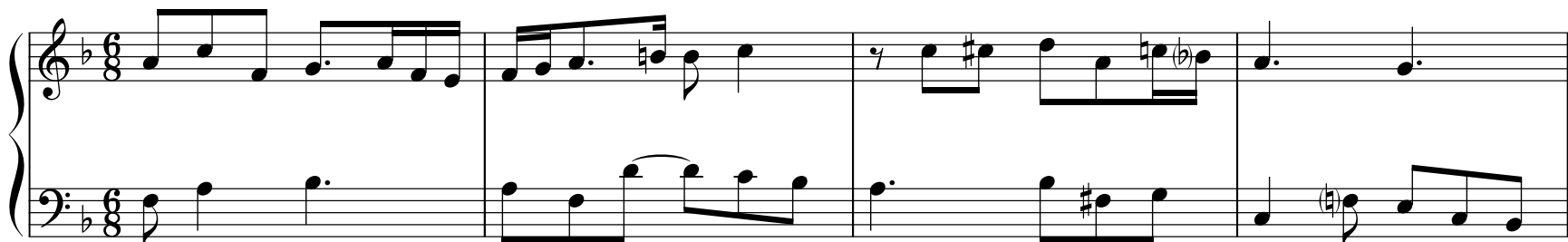
M-I

c moll 4分の4拍子

Moderato

M-II

F dur 8分の6拍子

Andante

M-III

(暗記) D dur 4分の2拍子

Allegretto